小学校四年の部　佳作

村上しいこ著『みんなのためいき図鑑』童心社

ため息一緒に調べませんか？

弘前大学教育学部附属小学校　鷺坂美采

ためいきとは、どんなものかわかりますか？私は、あらためて聞かれたときに自信がなかったので調べてみました。感心した時や、がっかりした時に出る、はぁ～とか、ふぅ～などの、ちょっといつもとはちがう、まとまった息が声に出てしまう感じのものだそうです。〝溜めた息〟と書いて、ため息と書いてある辞典もありました。

主人公のたのちんたちが作ったため息図鑑によると、ため息には、いやなことや残念なことがため息になるストレス系、うれしさや楽しさがため息になる満足系、ストレス系と似ているけど、自分の力ではどうにもならないモヤモヤ系、安心系があるそうです。

この本を読んで、私も周りの人がいつため息をしているのか調べてみました。お母さんは、私や兄を怒る前にしていますとか、言っています。

「はぁ～何回言ったらわかるの？」

「ふぅ～もう、いいかげんにしなよ。」

お父さんは、仕事から家に帰ってきて、ビールを飲みながら

「はぁ～～。」

と、長いため息をしていました。今までは、一日のつかれからのため息かなと思っていたけれど、本当は、一日終わりのうれしいため息だったのかもしれないということが、わかりました。

兄は、勉強をしないでお母さんに怒られた後に、

「はぁ、わかっているのに。」

と言いながら、ため息をしていました。これは、ストレス系かモヤモヤ系のため息です。

私はため息をついていない気がしていましたが、つかれて眠い時で、宿題がおわっていない時についているそうです。ため息は、つかれていたりすると出やすいのかな。

そして、このお話では、チームで図鑑を作る作業をしてい

ました。その作業の中でいろいろ問題が発生して、みんな四苦八苦していました。だけど、主人公のたのちんは、みんなの意見も聞いて、その問題のかこに何が起きたから今があるという原因も探っていたので、すごいなと思いました。自分の力だけでなく、いろいろヒントをもらいながらだけど、最終的には面白いため息図鑑ができたみたいです。

私も、もしチームで何か作る時や、トラブルになりそうな時、スムーズにできない時は、たのちんみたいにまずはみんなの意見を聞いたり、いろいろな情ほうを集めて本当の正しいことを伝えることができるようにするようにしようと思いました。

たのちんたちが作ったため息図鑑の一部ですが、本の最後にのっています。これを読んで、他の人のため息ももっと分析してみたいなと思いました。あなたも一緒にどうですか？